

果樹カメムシ類情報第3号

令和元年8月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

新世代成虫の発生量はやや少ないと予測します。
ヒノキ林からの離脱時期は、地域によりバラつきが大きい見込みです。

1 チャバネアオカメムシの発生状況

- (1) 予察灯における誘殺数は、現在のところ豊橋市、新城市ともにやや少なく推移しています(図1)。
- (2) フェロモントラップにおける誘殺数は、豊田市、幸田町、豊川市、新城市のいずれの地域でも少ない状況です(図2)。

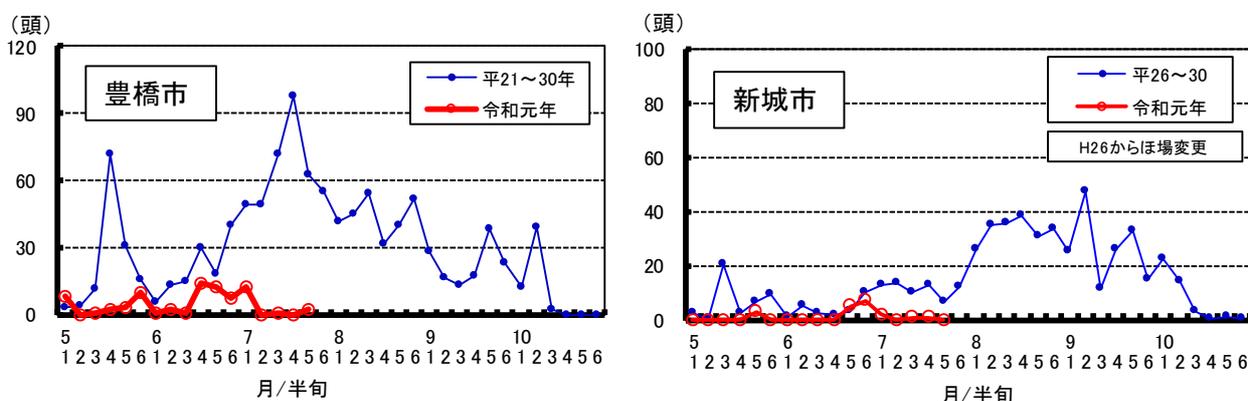


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

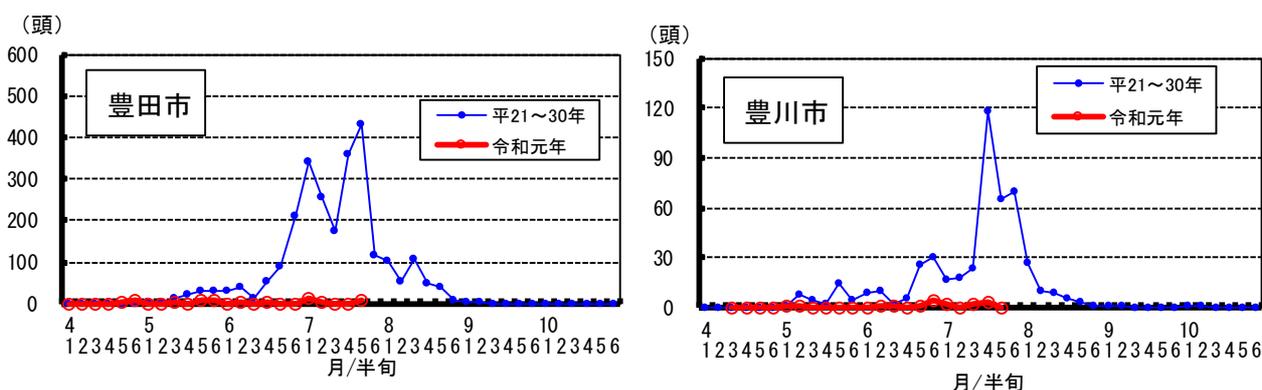


図2 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

- (3) 7月下旬にヒノキ林で調査を行ったところ、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシの生息虫数は、成虫が0.07頭(平年0.28頭)、幼虫は0.03頭(平年0.31頭)で(図3)、過去10年と比較して成虫は4番目、幼虫は3番目に少ない状況でした。

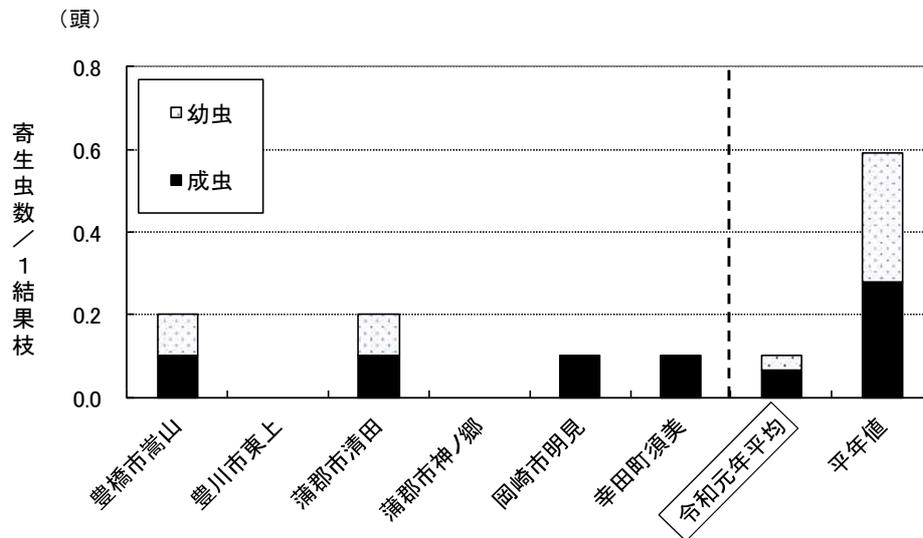


図3 7月下旬のヒノキ1結果枝あたりにおけるチャバネアオカメムシ生息虫数

2 今後の発生予測

- (1) 現在は、越冬世代成虫から新世代成虫への世代交代時期に入っています。県内のヒノキ球果の結実量がやや少なく、ヒノキ1結果枝当たりのチャバネアオカメムシ幼虫の寄生数もやや少ないことから、8月上旬以降に発生する新世代成虫の発生量は、平年と比較してやや少なくなると予測します。
- (2) ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数（吸汁した痕）が25本になると、餌として不適になるため、ヒノキ林から離脱すると言われていています。7月25日、26日に採取したヒノキ球果における口針鞘数から、離脱開始時期を予測したところ、表のとおりとなりました。蒲郡市神ノ郷町では既に離脱が始まっていると考えられます。蒲郡市清田町では8月中旬、幸田町では8月下旬に、その他の地域では9月以降に離脱を開始すると予測します。

表 ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数

調査地点	豊橋市 嵩山町	豊川市 東上町	蒲郡市 清田町	蒲郡市 神ノ郷町	岡崎市 明見町	幸田町 須美
1球果当たりの 口針鞘数	3.4	0.8	9.4	16.3	0.6	5.3
離脱開始予測時期	9月上旬	9月中旬	8月中旬	7月中旬	9月中旬	8月下旬
ヒノキ球果採取日：7月25日、26日						

- (3) 中山間部に近い果樹園や例年飛来量が多いほ場では、表の離脱開始予測時期を参考に、園内の発生状況に十分に注意し、飛来を確認したら防除しましょう。特に、スギ・ヒノキ林の近くの果樹園では、台風通過などで突発的に飛来が急増することがありますので、注意しましょう。